

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「言葉」		教員氏名	久保 小枝子		
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-1 ④					
学年	1年		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭	26年	
テーマ	保育内容領域「言葉」と乳幼児の言葉の発達過程を理解し、保育者の役割と援助を実践的に学ぶ					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育内容領域「言葉」について、乳幼児期の言語的発達を踏まえ講義から学習する。併せて、絵本などの児童文化、学生同士のグループ討議、実践的ワークを通して実践力を身に付ける。幼稚園教諭の経験を活用し、園の子どもたちの生活や遊びに着目し、子どもの言葉の育ちの基本について理解を促す。					
授業の到達目標	1. 保育内容領域「言葉」のねらいと内容を子どもたちの生活や遊びと関連付けて理解し、説明できる。 2. 乳幼児期の言語的発達を述べることができる。 3. 乳幼児にとつての児童文化財の意義を理解し、基礎的な知識を習得し実践できる。					
テキスト	『子どもの育ちを支える子どもと言葉』浅見均編著 大学図書出版					
参考書	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通して明確にする。				○	
	ITC(Google classroom)を活用した課題提示、回収等を実施する。				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める。					
	ICT(グーグルクラスルーム・Zoom)によるハイブリッド授業含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題参加度出席態度等	100%	レポート(40%)、ワークシート(30%)、授業に臨む姿勢(30%)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概要と趣旨(オリエンテーション)、言葉とは何か	
	授業外学習	(事前学習)テキスト「言葉とは何か」「諸外国における乳幼児の言葉の教育」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	乳幼児期における言葉の発達	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「乳幼児期における言葉の発達」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	保育内容 領域「言葉」とは	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「保育内容言葉の歴史の変遷」「保育内容領域言葉とは」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	生活体験と言葉(調査学習含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「生活体験と言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	遊びと言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「遊びと言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	感動体験と言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「感動体験と言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	児童文化と言葉①わらべうた、童謡、手遊び(グループワーク・ロールプレイ含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「言葉の温もりとリズムを感じるわらべうた・手遊び」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	児童文化と言葉②おはなし、絵本(グループワーク・ロールプレイ含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「物語の味わいおはなし」「絵と言葉の出会い絵本」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	文字との出会い	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「文字との出会い」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの育ちを支える保育者の言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「子どもの育ちを支える保育者の言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	言葉のかかわりに配慮を要する子ども	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「言葉のかかわりに配慮を要する子ども」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	幼児期の言葉の課題(グループワーク含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「幼児期の言葉の課題」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外指示	(事前・事後学習)これまでの学びを振り返り、授業内で作成したワークシートやノートを整理する。	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出課題は、授業時に口頭、プリントにてフィードバックを行う。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「言葉」		教員氏名	坂本 喜一郎		
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-1 ④					
学年	1年		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭	2年	
テーマ	保育内容領域「言葉」と乳幼児の言葉の発達過程を理解し、保育者の役割と援助を実践的に学ぶ					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育内容領域「言葉」について、乳幼児期の言語的発達を踏まえ講義から学習する。併せて、絵本などの児童文化、学生同士のグループ討議、実践的ワークを通して実践力を身に付ける。幼稚園教諭の経験を活用し、園の子どもの生活や遊びに着目し、子どもの言葉の育ちの基本について理解を促す。					
授業の到達目標	1. 保育内容領域「言葉」のねらいと内容を子どもの生活や遊びと関連付けて理解し、説明できる。 2. 乳幼児期の言語的発達を述べることができる。 3. 乳幼児にとつての児童文化財の意義を理解し、基礎的な知識を習得し実践できる。					
テキスト	『子どもの育ちを支える子どもと言葉』浅見均編著 大学図書出版					
参考書	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通して明確にする。				○	
	ITC(Google classroom)を活用した課題提示、回収等を実施する。				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める。					
	ICT(グループクラスルーム・Zoom)によるハイブリッド授業含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題参加度出席態度等	100%	レポート(40%)、ワークシート(30%)、授業に臨む姿勢(30%)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概要と趣旨(オリエンテーション)、言葉とは何か	
	授業外学習	(事前学習)テキスト「言葉とは何か」「諸外国における乳幼児の言葉の教育」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	乳幼児期における言葉の発達	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「乳幼児期における言葉の発達」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	保育内容 領域「言葉」とは	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「保育内容言葉の歴史の変遷」「保育内容領域言葉とは」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	生活体験と言葉(調査学習含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「生活体験と言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	遊びと言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「遊びと言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	感動体験と言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「感動体験と言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	児童文化と言葉①わらべうた、童謡、手遊び(グループワーク・ロールプレイ含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「言葉の温もりとリズムを感じるわらべうた・手遊び」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	児童文化と言葉②おはなし、絵本(グループワーク・ロールプレイ含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「物語の味わいおはなし」「絵と言葉の出会い絵本」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	文字との出会い	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「文字との出会い」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	子どもの育ちを支える保育者の言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「子どもの育ちを支える保育者の言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	言葉のかかわりに配慮を要する子ども	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「言葉のかかわりに配慮を要する子ども」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	幼児期の言葉の課題(グループワーク含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「幼児期の言葉の課題」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外指示	(事前・事後学習)これまでの学びを振り返り、授業内で作成したワークシートやノートを整理する。	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出課題は、授業時に口頭、プリントにてフィードバックを行う。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	保育内容「言葉」		教員氏名	鶴野澤 武美		
科目ナンバー	Ⅲ-6-2-1 ④					
学年	1年		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	幼稚園教諭・保育士	25年	
テーマ	保育内容領域「言葉」と乳幼児の言葉の発達過程を理解し、保育者の役割と援助を実践的に学ぶ					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	保育内容領域「言葉」について、乳幼児期の言語的発達を踏まえ講義から学習する。併せて、絵本などの児童文化、学生同士のグループ討議、実践的ワークを通して実践力を身に付ける。幼稚園教諭の経験を活用し、園の子どもの生活や遊びに着目し、子どもの言葉の育ちの基本について理解を促す。					
授業の到達目標	1. 保育内容領域「言葉」のねらいと内容を子どもの生活や遊びと関連付けて理解し、説明できる。 2. 乳幼児期の言語的発達を述べることができる。 3. 乳幼児にとっての児童文化財の意義を理解し、基礎的な知識を習得し実践できる。					
テキスト	『子どもの育ちを支える子どもと言葉』浅見均編著 大学図書出版					
参考書	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領					
ポートフォリオ	なし					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通して明確にする。				○	
	ITC(Google classroom)を活用した課題提示、回収等を実施する。				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める。					
	ICT(グーグルクラスルーム・Zoom)によるハイブリッド授業含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題参加度 出席態度等	100%	レポート(40%)、ワークシート(30%)、授業に臨む姿勢(30%)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	講義の概要と趣旨(オリエンテーション)、言葉とは何か	
	授業外学習	(事前学習)テキスト「言葉とは何か」「諸外国における乳幼児の言葉の教育」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	乳幼児期における言葉の発達	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「乳幼児期における言葉の発達」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	保育内容 領域「言葉」とは	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「保育内容言葉の歴史の変遷」「保育内容領域言葉とは」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	生活体験と言葉(調査学習含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「生活体験と言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	遊びと言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「遊びと言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	感動体験と言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「感動体験と言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	児童文化と言葉①わらべうた、童謡、手遊び(グループワーク・ロールプレイ含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「言葉の温もりとリズムを感じるわらべうた・手遊び」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	児童文化と言葉②おはなし、絵本(グループワーク・ロールプレイ含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「物語の味わいおはなし」「絵と言葉の出会い絵本」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	文字との出会い	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「文字との出会い」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分



第10回	テーマ 内容	子どもの育ちを支える保育者の言葉	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「子どもの育ちを支える保育者の言葉」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	言葉のかかわりに配慮を要する子ども	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「言葉のかかわりに配慮を要する子ども」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	幼児期の言葉の課題(グループワーク含む)	
	授業外指示	(事前学習)テキスト「幼児期の言葉の課題」を読む (事後学習)要点をノートにまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	まとめ これまでの学びを振り返る	
	授業外指示	(事前・事後学習)これまでの学びを振り返り、授業内で作成したワークシートやノートを整理する。	55分

#### 課題に対するフィードバックの方法

小テストや提出課題は、授業時に口頭、プリントにてフィードバックを行う。